

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	女性の再チャレンジ支援プログラム		
事業名	女性の再チャレンジ支援講座 「女性のためのビジネスに生かすIT活用講座」		
法人名	学校法人 岩崎学園		
学校名	情報科学専門学校		
代表者	理事長 岩崎幸雄	担当者 連絡先	石井宏光 TEL 045-311-5562
<p>1. 事業の概要</p> <p>子育て等により比較的長期間にわたり離職されていた女性を対象に、再就職支援のための訓練講座を実施した。講座の内容はIT活用スキルの習得とし、マイクロソフト認定資格 (Microsoft Office Specialist) 取得レベルとした。講座期間中は専門のカウンセラーを配置し、受講者個別の就労にあたっての課題解決のための相談にあたった。講座終了後も、週1日の頻度で、自由参加によるフォロー講座を実施した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>講座開設期間(40日間)中に、自主的に取得目標としたマイクロソフト認定資格を、受講生が受験した。その結果、1資格を取得した者が5名、2資格を取得した者が5名、3資格を取得したものが1名という結果に至った。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>受講生募集の支援をいただいた女性の自立支援の公的機関から受講生が講座期間中に資格取得ができたことにより評価を得ることができた。中長期のプログラムになるがパソコンの初心者であっても連続集中的に学習することで資格取得が可能であるということを実証できた。</p> <p>③今後の活用</p> <p>財団法人横浜市男女共同参画推進協議会等が実施している女性の採用説明会と、本カリキュラムの講座運営とを有機的に連動させることにより、次のステップである就労に結び付けていく。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>今回行った受講生募集の仕掛けでは、受講希望者が本プログラムを受講するに適しているか(本来の無業状態にあるか、受講・就労の意欲はあるのか)を測定することができないため、学習環境を悪くする発言をする受講生が入ってしまう。次回は事前の説明会を実施したり、受講申込書に受講要件・適性を測定できる項目を設定し、対応を図りたい。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①履修証明書等

全受講時間の7割以上の出席をもって講座の修了要件としている。この要件を満たした受講生には修了証明として講座独自の履修証明書を講座最終日に発行した。受講者実数31名に対して、この要件を満たした受講生は22名(修了者率71%)。

また、本講座を受講したことを、さらには履修証明書を取得したことを、今後の就職活動で有利に活用できるよう、横浜商工会議所(地域ジョブ・カードサポートセンター)の職員を招いて、講座最終日に、ジョブ・カード制度の説明を行った。

②カリキュラムの内容

カリキュラムのねらいを、一定期間出産・子育て等の理由で仕事から離れていた方(パソコンの初心者)を対象に、ビジネスで求められるITスキルを習得させ、その裏づけとして資格(Microsoft Office Specialist)を取得させ、就職活動へ繋げることにした。4つのアプリケーションの利活用方法を順番に学習させる構成とした(講座名称「女性のためのビジネスに生かすIT活用講座」、講習時間120時間=3時間/日×40日間、募集定員36名)。理解度の達していない受講生に対しては、その都度、講座時間外でフォローすることとした。

また、就労への意欲を喚起させるため、企業(3社)を招いての就職支援セミナーを実施した。

③講座の実施

■受講生

講座「女性のためのビジネスに生かすIT活用講座」の受講生募集にあたって187名の応募があった。抽選で36名の方に受講許可を発行したが、講座開始日までに5名のキャンセルが発生し、受講者実数31名での講座の開始となった。

■講座開設

受講対象者を子育て等により離職されていた女性で再就職をめざす方とした。そのため、講座開設時間を比較的出席しやすいであろう午前中(9時から12時の3時間)とした。講座の実施期間は10月28日から12月25日の間の平日40日間とした。会場は、新横浜駅から至近な場所にある情報科学専門学校新横浜校とし受講生の交通の便に配慮した。また、1歳6ヶ月から未就学児を対象とした託児のサービスを併設し、受講生に利用いただいた。

■受講生の反応

受講者の反応をアンケートから見ると、受講者自身が講座に積極的に参加できたかという問いに、全員が「非常にそう思う」(59.1%)、「概ねそう思う」(40.9%)と回答している。また、講座内容は理解できたかという問いに、ほとんどの受講生が「非常にそう思う」(36.4%)、「概ねそう思う」(59.1%)と回答している。受講者の本講座を受講したことへの満足度は高かったことがうかがえる。

■キャリアカウンセリング

また、適性試験と、その結果をもとにグループディスカッションをまじえながら自己分析を行った。講座期間中、キャリアコンサルタントを配し、訓練生に助言活動を行いながら、個別の相談(就職に対する不安、メンタル面のケア)にあたった。

④支援対象者(受講者)の状況

講座終了後、自己研鑽の中で新たな課題になった点をフォローするために、自由演習講座を8日間(土曜日)開講した。のべ18名の訓練生が来校した。